

2022. 7. 1 院長の米澤による単著『矯正歯科臨床ガイドブック 成人矯正歯科臨床から学ぶ基礎とテクニック』がクインテッセンス出版株式会社より発売されました。

2022. 7. 1 院長の米澤が日本臨床歯科学会雑誌 P116-127 「欠損部位の閉鎖に矯正学的診断を用いた包括的治療の3症例」を執筆いたしました。

日本臨床歯科学会誌
第8巻第1号 総論特集

The Japanese Journal of
Clinical Dentistry
2022 Vol. 8 No.1

図1 治療前、治療後、欠損部位上の咬合状態を示す。7mmの咬合開咬が観察される。

1. 症例1：4年引として変更してガイダンスを獲得した9点の最大咬合状態

欠損部位の閉鎖に矯正学的診断を用いた包括的治療の3症例

3 cases of comprehensive treatment using orthodontic diagnosis for closure of teeth defects.

米澤大地 (Takashi Yonezawa)

著者プロフィール: 米澤大地 歯学部 歯学専攻 矯正歯科学科 准教授

要約: 本症例報告は、欠損部位の閉鎖に矯正学的診断を用いた包括的治療の3症例について、その治療方針と治療経過を報告する。症例1は、4年引としてガイダンスを獲得した9点の最大咬合状態を示す。症例2は、咬合開咬を閉鎖するための治療方針を示す。症例3は、咬合開咬を閉鎖するための治療方針を示す。

Abstract: This report describes three cases of comprehensive treatment using orthodontic diagnosis for closure of teeth defects. Case 1 shows the maximum occlusion after 4 years of treatment. Case 2 shows the treatment plan for closing the occlusal gap. Case 3 shows the treatment plan for closing the occlusal gap.

2022. 05. 29 院長の米澤が近畿矯正歯科研究会 (AORK) にて講演を行いました。

第9回 近畿矯正歯科研究会 (AORK) 公開勉強会

【講演題目】包括的歯科治療における矯正治療—解決の糸口を探る—

開催日時 2022年 5月29日(日) 9時00分～17時

会場 大阪大学コンベンションセンター
〒555-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

参加費 1万円 (4月15日までの申し込みで早稲単価: 8,000円)

申し込み先 AORCホームページから申し込み。5月22日締め切り
https://www.AORC.jp | AORC

会長 講演 特別講演

委員 講演

近畿矯正歯科研究会のご案内

2022. 04. 11 院長の米澤が長崎大学 WEB 講義を行いました。

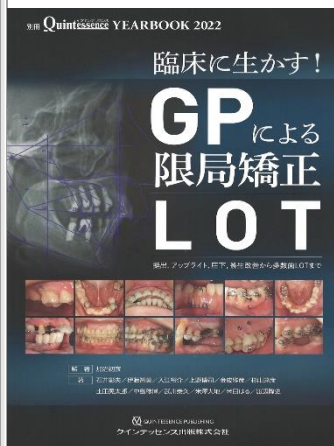
2022. 03. 24 院長の米澤が長崎大学 WEB 講義を行いました。

2022. 03. 10 院長の米澤が長崎大学にて講義を行いました。

2022. 01. 31

クインテッセンス出版株式会社

「臨床に生かす！ GP による限界矯正 LOT」
にて『欠損部に提出した上顎第一大臼歯の圧下』 P54-61
の共同執筆を院長の米澤が行いました。



2022. 01. 31

クインテッセンス出版株式会社

OJ 「天然歯を活かしたインプラント治療—矯正・ペリオ・自家歯牙移植との共存—」 P60-65
『矯正歯科治療主導型インプラント治療の可能性』
を院長の米澤が行いました。

